

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月08日

計画の名称	甘木周辺地区都市再生整備計画												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	大牟田市												
計画の目標	大目標：交通ネットワークが整い、移動しやすく住みやすいまちの形成 目標1：鉄道利用をしやすくするため、駅へのアクセス環境の向上 目標2：通学路における安心・安全な歩行環境の形成												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,118	A	1,118	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27		H32
1	駅に行きやすいと感じている駅利用者の割合の増加 駅利用者へのアンケート調査により把握、駅に行きやすいと回答した人の割合	23%	%	43%
2	大雨により浸水する市街化区域内の面積の減少(0にする) 大雨により浸水する市街化区域内の面積(降雨時に、4.9haの土地が毎年(5-6回/年)浸水している状況)	4ha	ha	0ha
3	学校と駅を結ぶ通学路の安全性について満足している高校生の割合の増加 地区内の高等学校の生徒へのアンケート調査により把握、駅からの通学路の歩行の安全性について満足と回答した高校生の割合	34%	%	42%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	大牟田市	直接	大牟田市	-	-	甘木周辺地区都市再生整備計画事業	道路、地域生活基盤施設、高質空間形成施設等、303ha	大牟田市						1,118		-	
												小計						1,118		
												合計						1,118		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 都市整備部 土木建設課（事業担当課）	事後評価の実施時期 令和3年度
	公表の方法 市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・指標1：従前値23.2%の1.86倍の43.2%を目指したが、調整池整備や水路整備による道路冠水の減少、道路整備、道路カラー舗装による駅へのアクセス環境の向上により期待以上の成果（54.5%）が上げられたため目標達成とした。 ・指標2：従前値測定時（平成26年7月3日）の日降水量（148mm）の浸水面積4.9haに対し令和3年8月12日（日降水量311.5mm）の浸水面積は0.0haであり目標達成とした。 ・指標3：従前値34.0%の1.25倍の42.7%を目指したが、調整池整備や水路整備による道路冠水の減少、道路整備、道路カラー舗装による駅へのアクセス環境の向上により期待以上の成果（61.7%）が上げられたことから目標達成とした。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備に伴い交通の区分が明確になり、離合の際の待避場所も確保されたことで学生の交通マナーが向上した。 ・道路縦断の変更により見通しが良くなり自動車を運転する際の安心感が向上した。 ・道路冠水がなくなり、迂回の必要がなくなったことで定時性が向上した。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後さらに頻発化、激甚化する恐れのある想定を超える降雨に対しての対策として、排水対策基本計画を策定する。 ・地域ニーズを踏まえたコミュニティバス運行ルートの設定するため、地域公共交通計画を策定する。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	鉄道駅へのアクセスのしやすさについての評価		
	最終目標値	43%	市道の拡幅、駅からの通学路のカラー舗装化により安心・安全な歩行環境が確保されたことや調整池整備、水路整備により大雨時の道路への浸水被害を最小限に抑えられていることにより、鉄道駅へのアクセス性が向上したため。
最終実績値	54%		
2	大雨による市街化区域における浸水面積		
	最終目標値	0ha	調整池整備、水路整備により大雨時の東甘木駅東側の区域等への浸水被害が抑えられたため。
最終実績値	0ha		
3	駅からの通学路の歩行の安全性についての評価		
	最終目標値	42%	市道の拡幅、駅からの通学路のカラー舗装化により安心・安全な歩行環境が確保されたことや調整池整備、水路整備により大雨時の道路への浸水被害を最小限に抑えられていることにより、駅からの通学路の安全性が向上したため。
最終実績値	61%		